

特定非営利活動法人 そばネット埼玉 理事会

阿部、野本、飯田、上田、生沼、小川、梶川、菅野、小島、小山、新寄、高瀬、高橋、田中（浩）、
田中（正）、田中（憲）、鳥海、野島、萩原、八木、川島、鈴木

平成 30 年 4 月 23 日（月）

NPO 法人そばネット埼玉事務所

第 147 回 理事会議事次第（議事概要）

1 議事録署名人の選任

飯田、野島

2 報告事項

① 会員数の状況

団体会員 46、個人会員 151（会費納入済み者）、賛助会員 6

② 30 年 4 月 1 日入会 取手そば愛好会

③ 経理状況

3 議事

① 第 13 回総会について

1 事業報告

2 収支報告（監査報告）

3 役員の変更（監事 1 名）

4 事業計画案

5 収支予算案

総会後の懇親会

事業報告、事業計画は阿部調整、収支報告、予算については上田調整

総会当日、事業報告、事業計画は鳥海理事が、収支報告、予算は上田理事が説明

上記及び別添事業報告案、事業計画案について検討し、一部修正の上提案するが、会員事前配布前に再度役員で確認するので、未定稿とする。

なお、収支報告については現状を説明し、おおむね了解は受けたが、まだ決算処理で数字が動くので、正確にしたうえで監査を受け、改めて役員に諮ることとする。

退任する川島監事の後任の了承を得る。（人事案件であり、役員会での議案書確定後に公表する。）

② その他

ア 35 回アカデミー

4.23 現在受講者数 114 名

講演 小山周三 パワーポイント使用

合格者の助言 依頼者

四段 西原賢三（つくば蕎麦愛好会）

五段 萩原武雄（さいたま蕎麦打ち倶楽部）

赤石貴子（NPO 法人そばネット埼玉）

イ 第 1 回友好交流団体交流会

参加者の確保に努める。理事は極力参加する

ウ 中日本支部とのそば打ち交流会への参加者の確保に努力されたい。

次回理事会 5 月 28 日（月）18:00 から

第1号議案

平成29年度事業報告書（案）未定稿

1 事業の成果

NPO 法人そばネット埼玉（以下「そばネット」という。）は、伝統食文化としての“手打ちそば”の健全なる普及・発展を目指した活動を展開しています。

29年度は、設立11年を経過して、主に既存事業の充実に力点を置きました。

① 手打ちそばの普及・啓発活動及び②手打ちそばを通じた食育活動を2本柱とし、①では、「全麵協素人そば打ち段位認定会」、「手打ちそばアカデミー in さいたま」、「手打ちそば指導者養成道場」を、さらに、多様性のあるそば打ちやそば料理などの普及のための事業を推進し、また、②では、「親子そば打ち体験教室」を“基幹事業”として位置づけて積極的に展開をしてきました。

さらに、そばネットは手打ちそば愛好家の集団であり、会員相互の交流はそばネット発展のために不可欠であり、創立5周年を機に開催した「会員対抗そば打ち選手権大会」も8回目となり大いに盛り上がりました。

①の事業として、第13回目となる「2018全麵協素人そば打ち段位埼玉認定会（初段・二段）」を開催したところ、初段については61人の応募があり、金、土と2日間に分けて実施し、合計61人全員が合格しました。

二段は51人受験で47人が合格となりました。

さらに、10回目となる「2018全麵協素人そば打ち段位埼玉認定会（三段）」を開催し92人受験して50人の合格でした。

やはり、今年度も、特筆すべきは、応募者の年齢構成であり、平均年齢は一昨年まで初段、二段、三段すべてで60歳を超えていましたが、今年の初段は高校生が6人受験し、最高齢は81歳で正しく手打ちそばは老若男女誰でも楽しめることとなっています。

二段は平均年齢62歳、最高齢は83歳、三段は、平均年齢64.3歳、最高齢は79歳でありました。

そばネットとしては、今後とも、老若男女、幅広い年齢層を対象に普及を広めていくことに加えて、これらの高齢の人たちが“手打ちそば”を通じて健康を維持し、仲間づくりなど、生き生きとした人生を謳歌できるための施策も展開していくこととします。

「手打ちそばアカデミーin さいたま」は、第32回（8月22日）に群馬県高崎市で「そば処おおの」を開業して、多彩な変わりそばを提供している大野誠一氏を講師として迎え、変わりそばの楽しさ、打ち方をご指導いただきました。

第33回（9月9日）は翌日開催される「シニア達人大会」の準備終了後に、シニア達人出場者も交え、指導者養成道場講師指導による「そば打ち技術交流会」を開催

しました。

第34回(10月1日)は、2007年の第3回アカデミーで講師を務めていただいた東京本陣房グループ総帥 山本育磨氏を再度招聘し、「そば打ちの基本技術」として講演及び実技指導を受けました。

当日は120名の受講者で熱気あふれる講座となりました。

11年目を迎えた「手打ちそば指導者養成道場」は、全麺協認証道場として位置づけられ、受講生の数も増加し、土・木の2コースで、延べ195人(前年度161人)が受講しました。

この講座は、手打ちそばの指導者として期待される全麺協三段位以上の合格者を目指す方も多く、今年度、受講生から三段は7人合格、四段は8人、五段が2人合格しました。

手打ちそばの楽しさ、素晴らしさを伝え、広めていくには“良き指導者”が必要であり、さらに、全麺協の認証そば道場となったこともあり、今後とも、手打ちそばの知識・技術を普及できる指導者を育成していきたい。

5回目となった「全日本創作そば料理コンテスト」は平成30年2月12日に開催し、24品目24人の応募があり、下記の結果となった。

特に、今回も群馬県立安中総合学園高校の生徒が7人応募いただき、老若男女が熱のこもったコンテストになりました。

「和食」がユネスコの無形文化遺産として登録され、「そば食文化」のますますの発展を目指して今後も開催していきたい。

第5回全日本創作そば料理コンテスト入賞者			
賞	料理名	出品者	住所地
そば料理一般の部 (9 出品)			
金賞	しなののきのこそばクリーム仕立て	大池 久男	小諸市
銀賞	和っ！ヘルシーそばドリア	鈴木 洋子	野田市
銅賞	三色更科そばの袱紗包み	柴田 好枝	宇都宮市
優秀賞	子供のおやつパリパリそば	菊地 幸子	宇都宮市
優秀賞	そば粉を使った春巻き&お煎餅	小林 秀美	白岡市
そばスイーツの部 (13 出品)			
金賞	韃靼そばクッキー	富山 守	那須塩原市
銀賞	切りそばのキャロットケーキ	塩田 多賀子	さいたま市
銅賞	さらしなの丘	柴崎 友子	久喜市

優秀賞	そばケーキ	稲熊 美幸	安中市
優秀賞	2色ロールケーキ	猿谷 葉月	安中市
そば酒肴の部 (2 出品)			
金賞	変わり揚げそば	島崎 朝美	茂原市
銀賞	そばピザ アラカルト	大池 喜美子	小諸市

「第1回全日本シニアそば打ち達人会」

過去3回の「全日本シニアそば打ち選手権大会」の成功を基に、シニアそば打ち全国大会の殿堂となるよう「達人大会」として再出発しました。

北は福島県から南は広島まで文字通りの全国大会となって定員48名を大きく上回る57人が円熟した手打ち技を競い合いました。

今後、ますます高齢社会となっていく日本が活力を維持するためにも、このような大会は大きな効果をもたらすものであり、発展継続をしていきたい。

平成29年9月10日(土) 埼玉県県民活動総合センター

シニアの部 (70～74歳) 34人出場

達人	仁井谷 芳明	広島県尾道市	広島備後そばの会
準達人	大塚 康子	埼玉県杉戸町	杉戸麺打愛好会小川道場
	尾林 武雄	栃木県宇都宮市	栃木のうまい蕎麦を食べる会
敢闘賞	堀 栄次	千葉県千葉市	千葉県そば推進協議会
	松本 福子	埼玉県熊谷市	NPO法人熊谷そば打ち会

グラウンド・シニアの部 (75歳以上) 23人出場

達人	小川 伊七	埼玉県杉戸町	杉戸麺打愛好会小川道場
準達人	萩野谷 廣治	栃木県真岡市	栃木のうまい蕎麦を食べる会
	関 信雄	埼玉県久喜市	杉戸麺打愛好会小川道場
敢闘賞	入田 勝	埼玉県深谷市	NPO法人熊谷そば打ち会
	岩本 シナコ	栃木県宇都宮市	とちぎ蕎和会
	國分 圭	埼玉県上尾市	上尾手打ちそば研究会

第1回全日本さらしなそば打ち名人大会の開催【新規事業】

「手打ちそば」は、そば粉の種別、地域性など長い歴史の中で、多様な打ち方、食し方が受け継がれてきており、私たち手打ちそば愛好家にとっても楽しみ方は限りなく広く、奥行きが深いものとなっている。

「優雅で高度の技術を要するさらしなそばを広く普及させるため、全国規模の大会に発展させる。」ことを目指して、第1回大会を開催しました。

開催日 平成29年4月2日(日)

会場 幸手市北公民館

大会の内容 さらしな外二の部及びさらしな変わりそばの部

さらしな外二の部 出場者21名

名人	高橋光一	埼玉県加須市	彩蕎一門会
準名人	廣木和美	栃木県上三川町町	蕎遊庵 蕎麦打ち教室
準名人	関 信雄	埼玉県久喜市	杉戸麵打愛好会小川道場
敢闘賞	小林秀美	埼玉県白岡市	杉戸麵打愛好会小川道場

変わりそばの部 出場者 18 名

名人	和田 勇	埼玉県加須市	分桜流・彩次郎蕎麦打ち会
準名人	廣木和美	栃木県上三川町町	蕎遊庵 蕎麦打ち教室
準名人	川鍋敏雄	茨城県古河市	そば塾元右エ門
敢闘賞	土屋照雄	千葉県千葉市	江戸流手打ち蕎麦 二八の会

会員相互の交流を活発化するための「第 8 回会員対抗そば打ち選手権大会（ペア・団体・個人）」を開催しました。

今回も、ペア、団体は 24 日、個人は翌 25 日に開催しましたが、ペアは 12 組、団体は 20 チーム、個人は 46 人と過去最大となった出場者と応援者で大いに盛り上がり、NPO 法人そばネット埼玉 29 年度事業のフィナーレを飾ることができました。

第 8 回会員対抗選手権大会 平成 30 年 3 月 24 日（土）

ペアの部 出場者 12 組 24 人
受賞者

ゼッケン	出場者	賞の名称
1	斉藤勲 高柳純子	ベスト連携賞
2	野川好廣 野川いね子	ビューティフルシニア賞
3	上石良雄 上石ヒサ子	うらやましき喝采賞
4	新寄照幸 遠藤久子	ベストコンビ賞
5	本間昇 福田和子	息ぴったり賞
6	上原文吾 太田弘子	リード&フォロー賞
7	石川利行 荒井キヨ子	ベストパフォーマンス賞
8	林久晴 岩崎よし子	こもれび発信賞
9	桑子正勝 浜崎正子	ユーモア賞
10	小林浩 米谷眞由美	ベストバランス賞
11	佐藤勝雄 茂呂俊子	師弟愛賞
12	鳥海修一 福島雅子	スマートペア賞

団体の部 出場 20 チーム

優 勝	彩蕎一門会 米田薫・金子明宏・宮永三喜男
準優勝	さいたま蕎麦打ち倶楽部 入尚志・萩原敏彦・北脇将史
第3位	せいち庵そば打ち倶楽部 福田茂・高鳥薫・八下田聡
B・B賞	圏央手打そばクラブ2 朝比奈厚・三村作治・岡野義雄

個人の部 出場者 47人 平成30年3月25日(日)

優 勝	柴 崎 友 子	杉戸麵打愛好会小川道場
準優勝	金 子 明 宏	彩蕎一門会
第3位	荒 井 キ ヨ 子	下野そばの会
優秀賞	小 林 秀 美	杉戸麵打愛好会小川道場
	田 村 加 代 子	せいち庵そば打ち倶楽部
	長 崎 幸 村	個人(いばらき蕎麦の会)

埼玉県県民活動総合センターを運営する公益財団法人いきいき埼玉が主催する生活趣味講座で「本格そば打ち講座」の運営を受託しました。

開催日：平成29年11月24日(金)、12月1日(金)、12月22日(金)

会 場：埼玉県県民活動総合センター料理研修室

対 象：一般県民 午前、午後各12人

②の事業として 多くの親子が、そば打ち体験を通して、手作りの料理の美味しさ、楽しさ、さらに親子の共同作業の大切さを実感して、双方から心温まる感想文をいただいた。

今後も食育に関する事業を推進することとしたい。

親子そば打ち体験教室

日時：弊合営29年4月16日(日)9:00~15:00

会場：埼玉県県民活動総合センター料理研修室

人員：17組(子24、親30)

③ そば粉等の販売

上記の事業を推進するに当たり、そば粉等材料の販売を行った。

以上、主な事業の成果により、会員数も下表のとおり増加してきたが、伝統食文化としての“手打ちそば”の健全なる普及・発展に向けて、今後とも魅力ある事業の実施に努め、ネットワークを広げていきたい。

	団体会員	個人会員	賛助会員	合計
設立時	3	20	0	23
平成 17 年度末	3	36	3	42
平成 18 年度末	10	69	5	84
平成 19 年度末	12	88	6	106
平成 20 年度末	14	103	10	127
平成 21 年度末	17	133	10	160
平成 22 年度末	21	141	6	168
平成 23 年度末	24	130	6	160
平成 24 年度末	26	138	5	169
平成 25 年度末	29	132	5	166
平成 26 年度末	32	180	9	221
平成 27 年度末	35	191	7	233
平成 28 年度末	41	184	7	232
平成 29 年度末	44	164	7	215
増減	3	△20	0	△17

2 その他

(1) 役員会の開催

事業実施を計画的かつ円滑に運営するため、役員会を下記のとおり開催しました。

第 136 回～146 回で計 11 回（1 月は大雪で中止）、いずれも会場はそばネットの事務所（さいたま市）でした。

全て、ホームページに議事概要を掲載しています。

(2) 評議員会の開催

そばネットの団体間の連携を密にするため、団体正会員を評議員として年 1 回評議員会を開催しており、今年度は下記の通り開催しました。

開催結果概要はメールで全会員に報告しています。

第6回

開催日 平成30年2月6日(日)

会場 かのうや(大宮区)2階会議室

出席者数 30団体49人出席

主な議題

- 1 NPO法人そばネット埼玉事業支援制度について
- 2 段認定会のスタッフについて
- 3 ホームページの活用について
- 4 今年度開催予定の事業について
 - ①第7回会員対抗大会について
 - ②第1回全日本さらしなそば打ち選手権大会について
- 5 意見交換会
- 6 その他

(3) 役員選出方法検討委員会の設置、開催

役員を選出は、手一貫御定めにより理事会が総会に候補者を提案して可決されて就任することになっているが、理事会の提案する候補者の選考方法が明文化されていない。

会員から見て、透明性・公平性のある選出方法について検討する委員会を設置して委員会を開催し、検討結果の結果が理事会に提出された。

NPO法人そばネット埼玉役員選出方法検討委員				
	氏名	所属	所属所在県	摘要
理事選出	小山 周三	埼玉西部蕎麦打ち連合会	埼玉県	議長
	田中 浩三	さいたま蕎麦打ち倶楽部	埼玉県	創立団体代表
	小島 潔	杉戸麺打愛好会小川道場	埼玉県	
	田中憲一	久喜そば倶楽部	埼玉県	
	上田 秀雄	さいたま蕎麦打ち倶楽部	埼玉県	事務局長
評議員選出 公募	浅見 周司	つくば蕎麦愛好会	茨城県	副議長
	小森 康弘	とちぎ蕎和会	栃木県	
	林 久晴	こもれび蕎麦の会	千葉県	
	城 幸夫	いるま蕎麦打ち倶楽部	東京都	
	上石 良雄	秩父そば打ち倶楽部 蕎楽館	埼玉県	

第1回委員会 平成29年12月18日(月)

第2回委員会 平成30年2月5日(月)

2回の委員会の結果、2月26日に下記の答申が提出された。

これを受けて理事会で選出方法の具体案を作成し、評議員会の意見を踏まえて、平成31年5月の役員改選に適用するよう努めることとした。

役員選出検討委員会
委員長 小山周三

答申書

役員選出方法検討委員会を 2 回にわたって開催し、NPO 法人の活動状況および事業運営への役員会の関わり方等を考察、検討した結果、以下のような選出方法の透明化が必要との総意を得たので答申します。

記

1. 本委員会の設置目的

- ・会員に対して開かれ、透明度の高い役員選出方法の検討
- ・法人設立後の活動の拡がり（広域連合体としての NPO）と今後の法人の円滑な運営体制に配慮した検討を行った。

2. 役員候補者の選出にあたっての基本的な考え方

（1）基本的な考え方

- ・構成会員の現状（所属団体の会員数、地域分布等）への配慮
- ・事業実施への適切な対応と会員団体の協力体制の確保
- ・識見・経験等
- ・毎月開催理事会（さいたま新都心、夜間）への出席が可能なこと

（2）役員構成について

- ・理事・監事を合わせた役員 22 名（理事 20 名、監事 2 名）の枠は定款の定めにより、現行通りの枠組みとする。
- ・法人設立時の母体団体であった、「さいたま蕎麦打ち倶楽部（10 名）」「分桜流・彩次郎麦打ち会（3 名）」「NPO 法人 熊谷そば打ち会（2 名）」の 3 団体から複数（合計 15 名）の役員が選出されている現状については、諸事業執行上の必要性を反映したもので、現状では役員構成のバランスを欠くとはみなし難い。
- ・理事の役割分担が明記されると、NPO 法人事業活動の可視化につながる。
- ・所属会員の拡大化、地域的な広がりに対応した役員選出を考慮する。所属団体数、所属会員数などに配慮し、会員の声が広く公平に反映される選び方を採用する。

（3）役員と事務局・執行体制との兼務について

- ・理事 20 名のうち、10 名が「さいたま蕎麦打ち倶楽部」より選出されている。
しかしながら、その内の 4 名が事務局・事業執行業務（総務、事業、経理、その他）に関わっており、代表理事を含めると 5 人が、事業執行に必要な職務を担っている。

- ・専任事務局を持たないNPO法人を円滑に運営するうえで、理事と事務局との兼務体制は合理的な運営体制とみなすことができるので、今後は「執行理事制」などの導入を検討する必要がある。

3. 役員候補選出の手続きについて

- ・本答申内容を参考にした「役員候補者選出基準（もしくは規定、要項）」をつくり、この基準に基づいた役員候補選出を理事会で行うことにより、透明度の高い選出方法が可能になる。
- ・役員を選出は総会の審議・議決事項であるが、総会前の評議員会で候補者選出に係る理事会の基本的な考え方を説明し、予め会員の周知をはかることも、役員選出の透明化につながると考えられる。

4. 付議事項

- ・NPO法人そばネット埼玉の事業活動、組織運営、理事の役割等に関する情報の公開性に努める。
- ・団体会員の事業運営への参加・分担・協力体制の構築に努める。事業運営分担ではリーダー役への参加を推進し、さいたま蕎麦打ち倶楽部の負担軽減を図ることに努力する。
- ・評議員会の積極的な活用
- ・広域連合体に適合した組織運営体制づくり
- ・法人の事業活動が分担できるだけの実力を会員団体が磨く必要がある
- ・新任役員の公募・届け出制については今後の検討課題
- ・評議員会の名称変更（評議会等の名称）も検討課題

第4号議案

平成30年度事業計画（案）未定稿

1 事業実施方針

NPO法人そばネット埼玉（以下「そばネット」という。）は、日本の伝統食文化の代表格ともいえる“手打ちそば”の普及・啓発のための事業を引き続き積極的に推進していきます。

特に、「和食」がユネスコの世界文化遺産に登録されたこともあり、段位認定会や手打ちそばアカデミー、手打ちそば指導者養成道場などの主要事業に加えて、「そば」をより身近な、かつ健康的な食材として広めていくための活動も展開し、日本の食文化向上に貢献することとします。

さらに、団体正会員が過去最大となるなど“緩やかな連合体”としての要となる「そばネット会員の交流」を積極的に推進してまいります。

2 実施事業

1) 手打ちそばの普及・啓発事業

伝統食文化としての“手打ちそば”の健全なる発展を目指して、そばネットは、広範に且つ、きめ細かい事業を展開していきます。

① 第13回通常総会

実施時期：平成30年5月20日（日）

会 場：市民会館おおみや 第4、第5集会室

② 2019全麵協素人そば打ち段位埼玉認定会（初段・二段）の開催

14回目となる段位認定会（初段・二段）を開催します。

実施時期：平成31年1月11日（金）12日（土）13日（日）

会 場：埼玉県県民活動総合センター

③ 2019全麵協素人そば打ち段位埼玉認定会（三段）の開催

10回目となる段位認定会（三段）を開催します。

実施時期：平成31年3月2日（土）3日（日）

会 場：埼玉県県民活動総合センター

※ ②③は全麵協から開催承認を受けることで実施となる。

④ 「手打ちそばアカデミーin さいたま」の開催

年度当初から具体的計画を作成し、会員がそばに関する幅広い知識を習得し、手打ちそばの普及活動に生かせるよう積極的に開催していきます。

第35回 学術系

実施時期：平成30年5月6日（日）

「手打ちそば指導者養成一日講座」

講師 西武文理大学名誉教授 小山周三氏ほか

埼玉県県民活動総合センター

- ・ 第 36 回 技術系
そば打ち技術交流会
実施時期：平成 30 年 9 月 8 日（土）
会 場：埼玉県県民活動総合センター
- ・ 第 37 回 学術系
実施時期：平成 30 年 11 月
会 場：未定
- ・ 第 38 回 技術系
実施時期：平成 31 年 2 月予定
会 場：未定

- ⑤ 「手打ちそば指導者養成道場」の開催
手打ちそばの普及に不可欠な“指導者”の養成を昨年度に引き続き実施します。
実施内容：1 期 6 回（3 ヶ月）、土・木 2 コースで 4 期実施する。
対象者：そばネット会員（団体・個人）でそば打ち教室等の指導者を
目指す者
実施時期：年間
会 場：そばネット埼玉そば打ち道場
- ⑥ 第 2 回全日本さらしなそば打ち名人大会の開催
第 1 回は 29 年 4 月に幸手市で開催したが、桜まつりに合わせて開催するのは交通や会場確保等でのリスクもあり、継続発展させていく事業として、比較的そば関連のイベントが少ない時期及び使用勝手の良い会場で開催することとした。
開催日：平成 30 年 6 月 24 日（日）
会 場：埼玉県県民活動総合センター
内 容：さらしな外二の部 さらしな変わりそば野部
- ⑦ 第 2 回全日本シニアそば打ち達人大会の開催
そば打ちに円熟さが増し、熟達者となる元気なシニアの大会を開催する。
開催日：平成 30 年 9 月 9 日（日）
会 場：埼玉県県民活動総合センター
シニアの部：70 歳～74 歳
グランドシニアの部：75 歳～

⑧ 第6回全日本創作そば料理コンテストの開催

手打ちそば愛好家だけでなく、「そば」が身近な料理として、多くの人々に愛される食材として利用されることを目指して、全国に発信するそば料理コンテストを開催する。

開催日：平成31年2月10日（日）

会場：埼玉県県民活動総合センター

対象：全国（外国も可）、プロ・アマを問わず

2) 手打ちそばを通じた食育事業

未来を担う子供たちに、手打ちそばを通じて“食の大切さ”“手作りの食の楽しさ”を伝える事業を展開する。

親子そば打ち体験教室の開催

親と子が一緒に体験し、共に“手作りの食の楽しさ”を実感する教室を開催する。

開催日：平成30年4月14日（土）

会場：埼玉県県民活動総合センター

対象：さいたま市内の小学生親子20組60人

3) 手打ちそば愛好家・団体間の交流・情報交換

第9回会員対抗そば打ち交流大会の開催

会員の技術向上と交流推進のため、団体・ペア・個人戦を実施する。

開催日：平成31年3月25日（土）～26日（日）

会場：埼玉県県民活動総合センター

4) 他団体との友好交流協定、交流事業の推進

設立10周年を機に、そば食文化友好交流を広く推進するため、近隣の広域そば関連団体（群馬奥利根連合そば会、千葉県そば推進協議会、千葉手打ち蕎麦の会）との交流を促進を図るため、平成28年3月26日に友好交流協定を締結し、昨年度4団体役員連絡会議を開催した。

その結果、4団体合流のそば打ち交流会をNPO法人そばネット埼玉が主管して下記のとおり開催することとなった。

今後4団体が持ち回りで開催することとなる。

開催日 平成30年6月30日（土）～7月1日（日）

会場 埼玉県県民活動総合センター

※ 開催要項は全会員に配布済み

6) その他

① そばネット埼玉の理事・監事の選出方法について、透明性の確保を図るた

め平成 29 年 6 月に「役員選出方法検討委員会」を設置して 2 回にわたって検討委員会を開催した。

その答申を踏まえて、理事会は、評議員会の意見を参考にして、次期役員改選に導入できるよう役員選出方法を決定する。

② ホームページによる会員への情報提供

そばネットの事業はもとより全麵協や他のそば関連団体のイベント情報などをきめ細かく掲載する。

③ インターネットメールによる情報の相互交流

必要な会員への情報はメールにより迅速に提供するとともに、NPO 法人そばネット埼玉の事業活動等への意見を受ける。

④ 役員会の開催

事業を円滑に推進するため、原則月 1 回の役員会を開催する。

⑤ 評議員会の開催

団体正会員を評議員と位置付け、団体間の連携を密にするため評議員会議を開催したが、今年度も最低年 1 回は開催する。